

子ガメ 荒天で足止め 鴨川



砂の中から次々と姿を現す子ガメ（鴨川シーワールド提供）

鴨川市の水族館「鴨川シーワールド」の敷地内にある砂浜でアカウミガメの孵化が始まり、8日に第1陣の子ガメ55匹が誕生した。例年だとそのまま海へ放流するが、台風の影響で大しけのため、施設内に足止めにした。

シーワールドは15年前から、孵化に適さない砂浜に産み落とされた卵を保護しており、今年は近くの海岸から354個を移した。この日は孵化した子ガメが早朝に次々と砂の中から姿を現した。今後も相次いで誕生するとみられ、海が収まり次第、東条海岸から順次放たれる。